



2025年10月12日
10月第二主日礼拝式

「誰でもキリストの内に」

(コリントⅡ 5:17)

だれでも キリストの内にあるなら

その人は新しくつくられた者

古(ふる)きは 過ぎさり

すべてが新しい

主のうちにあるなら

すべてが新しい

「主の喜びが心にあれば」

(詩篇31:11)

主の喜びが 心にあれば

主の喜びが 心にあれば

悲しみは 笑いに

苦しみは 喜びに

嘆(なげ)きは 踊(おど)りに

すぐにかわる

新聖歌114番 「血潮したたる」

- 1 血潮したたる 主の御頭(みかしら)
とげに刺されし 主の御頭(みかしら)
悩みと恥(はじ)に やつれし主を
われはかしこみ 君(きみ)とあおぐ
- 2 主の苦しみは わがためなり
われは死ぬべき 罪びとなり
かかるわが身に 代わりましし
主の御心(みこころ)は いとかしこし

【次】

新聖歌114番 「血潮したたる」

- 3 懐(なつ)かしき主よ はかり知れぬ
十字架の愛に いかに応(こた)えん
この身と魂(たま)を とこしえまで
わが主のものと なさせたまえ
- 4 主よ 主のもとに 帰る日まで
十字架の影(かげ)に 立たせたまえ
み顔をあおぎ 御手(みて)によらば
いまわの息も 安(やす)けくあらん

アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌202番 「一度 死にしわれをも」

- 1 一度 死にしわれをも イエスは生かしたまえり
咎(とが)と罪の代わりに 新たなるいのちあり
* 時の間(ま)をも惜しみて きみはわれと語ろう
きみはわれを放(はな)たず われはまた 主にぞつく
- 2 流れ落つる涙も 肩にになう荷物も
君は知りて憐れみ 愛の御手のべ給う (＊)
- 3 うめき叫ぶ夜(よ)はなし 罪とえにし断(た)ちし身
み座に近く安らい 天つ歌 つねに聞く (＊)
- 4 病めるわれに手を置き 弱きところ強くし
まがに幸に励ます 主イエスこそ神にませ (＊)

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの

おお 御神(みかみ)に

ときわに 絶(た)えせず

御栄(みさか)え あれ

御栄(みさか)え あれ

アーメン